

映画を愛し、平和と民主主義を支え、人間の尊厳を守った人々ここに眠る



2025. 12. 20

第109号

〒107-0062 東京都港区南青山4-18-21 南青山スカイハイツ504号 共同映画(株)内 03-6427-4425 FAX03-6434-7040

この会は、故人を納骨・合葬し、墓碑銘にその名を刻銘して、顕彰し、末永く共同して追悼します
この会は、生前予約者を会員として、会員の意思によって運営され、総会で選ばれた理事会が、日常の運営に当たります
この会は、思想・信教の自由を尊重し、宗教・宗派の有無を問わず、映画を愛し、平和と民主主義・人間の尊厳を守ります

ホームページアドレス <https://bohinokai.or.jp/> Eメールアドレス bohinokai@gmail.com

映画人の墓碑の会 社員総会開催

映画人の墓碑の会 第16期社員総会開く

映画人の墓碑の会は、2025年11月1日、青山生涯学習館にて第16期（通算35回）社員総会を開きました。

今総会は、戦後80年・被爆80年という節目の年の開催となりましたが、内外とも複雑な情勢が続いている年度の開催となりました。

総会は冒頭、山口逸郎代表の開会宣言と挨拶（次頁掲載）があり、松本平事務局長より第15期活動報告、千蔵眞理会員担当による会員の現況説明、山口百枝会計担当による決算報告の承認決議に続き、新年度方針と予算案等の提案を全員一致にて決定しました。

今年度は理事改選期であり、新年度理事体制の提案があり、第15期理事の継続と同時に新理事として藤野戸護氏（前期監事） 兄玉高志氏（元日活監督・城西大学教授）が推薦され、全員一致にて決定しました。尚15期理事を務めて頂いた堀内正美さん（神戸市在住）は顧問に就任いたしました。その結果、新年度は野原嘉一郎名誉会長、山口逸郎代表他現三役と新副代表に高間賢治氏が加わる運営体制となり、新年度の活動を進めることとなりました。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

頁	主な目次	多聞寺・その他の行事
15	第15期社員総会報告／第15期事業活動の報告・総括	○隅田川七福神めぐり 1月3日(土) 多聞寺 10時集合
14	第16期理事及運営体制／新理事・新監事紹介	○春彼岸法要 3月20日(金)春分の日 11時・14時
13	第15期収支決算報告書	○積尊降誕讃仰花まつり人形劇 4月4日(土) 11時
12	第15期寄付金者名簿／第15期監査報告書	○大施餓鬼会 5月1日(金) 11時
11	特別記載	
10	音沙汰あり！	
9	多聞寺で「いのちと平和コンサート」開かれる。	
8	戦後80年、戦争を描く日本映画に希望 平沢清一	
7	編集後記／お知らせ	

○当番・11時～13時・月（平沢・松本・藤野戸）水（千蔵）金（山口百）

第16期 社員総会報告



代表挨拶 山口逸郎代表理事

只今から第16期（通算35回）社員総会を定款第3章に基づいて開催致します。

本日は映画人の墓碑の会第16期社員総会にご出席下さいまして誠にありがとうございます。

定款第14条では「社員総会の議長は代表理事がこれに当たる」と記載してあります。従って、私、代表理事の山口逸郎が議長を務めますので、本日もご出席くださいました社員皆様のご協力をお祈り申し上げます。

今総会は社員総数199人中、出席社員15人、委任状出席社員130人、出席率66%、よって総会は成立しております。

尚、欠席で委任状無しが1人でした。今回、社員199人中、通知者は131人、通知者無しが69人でした。

又、定款第3章第16条に補足されて、賛助会員も総会に参加が出来るようになりましたが、残念ながら参加者はありません。賛助会員は189人で欠席通知者は60人でした。

議事に先立ちまして、今期亡くなられた川村明、中村美智子、田中一子、熊谷秀雄、木下祐子、石川清、上村啓子の皆さん、以上7名の方々に対して、謹んでご冥福をお祈り申し上げますと共に哀悼の意を表して黙祷を行いたいと思います。

本日の社員総会においては、第15期の活動、収支決算の各報告

の承認と第16期活動方針、収支予算案を確認し、決定して下さいることを、よろしくお願い申し上げます。

尚、今総会は2年ごとに行う理事の改選期です。定款第4章第19条に基づきまして、理事及び監事選出がありますので、よろしく申し上げます。

早速、議案目次に従って議事に入ります。

松本平事務局長から第15期の事業活動の報告・総括をお願い致します。

第15期 事業活動の報告と総括

（2024年11月1日～2025年10月30日）

松本平事務局長より報告

はじめに

戦後80年・被爆80年という節目の年、戦争について考えなければならぬ年でしたが、世界の情勢は驚くべき戦争が続いています。一方、国内外とも戦争反対、反核の声や運動も高まっています。昨年は、日本被爆者団体協議会（被団協）がノーベル平和賞を受賞するという嬉しいニュースがありました。

そのような中、国内では、26年間悪政を続けてきた自公政権は崩壊し、石破総理の辞任、しかしその後、自民・維新連立政権高市内閣が新たに組閣され、格差拡大、福祉切り捨て、防衛力強化・軍備拡大、人権を無視する等の悪政が続く状況が予想されています。映画人の墓碑の会は、こうした情勢のなか第15期社員総会を迎えることとなりました。

第15期 活動報告

① 全合葬者・合同追悼会の開催

基本事業である「全合葬者・合同追悼会」は、第34回となり、2025年4月29日、天候に恵まれ多聞寺にて行いました。今期は昨年同様、多聞寺様のご配慮により参加者人数等制限はなく、コロナ禍以来、最も多い1000名余参加されました。合葬者は19名でした。尚「七ふく」107号・108号にて詳細と写真を掲載しました。

② 会報「七ふく」の発行

今期の会報「七ふく」は、12月106号（社員総会報告等）、3月107号（全合葬者・合同追悼会案内等）、6月108号（追悼会報告と音沙汰あり等）を予定通り発行致しました。今期は、編集委員会より、「七ふく発行の回数について」現在の年3回発行を「年2回の発行案」の提案があり、理事会にて検討した結果、「会の企画・広報・情報提供とコミュニケーション」は、年2回でも可能であることと、編集業務の負担軽減等を図るため「年2回案」を第6回理事会にて決定しました。よろしくご理解賜りたいと思います。

③ 第15期3月以降の訃報及び入会者

各年度の合同追悼会対象は毎年、2月末となっています。2025年3月以降、現在までに訃報の連絡がありました方々は以下の通りです。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

川村 明	2025年3月7日	享年76歳	全骨
中村 美智子	3月20日	享年94歳	全骨
田中 一子	4月3日	享年99歳	全骨
熊谷 秀雄	5月29日	享年83歳	全骨
木下 祐子	6月18日	享年81歳	全骨

石川 清	7月9日	享年96歳	分骨
上村 啓子	7月31日	享年88歳	全骨
島田 耕	11月7日	享年95歳	全骨

今期の新入会員は

片岡富枝、高橋千津子（保留）、平岩道夫（没後入会）、平岩壽美代、平岩雅代、平岩道代、山口洋、児玉高志、児玉裕美、押見信二（没後入会）の皆さんで、「七ふく」107号に紹介記事が掲載されています。

④ 広報活動としてのホームページの充実

広報活動は、「七ふく」の発行とともにホームページの充実に努めて努力していますが、少しでも多くの情報を発信するように努めました。また、今期は会員拡大に向け、映画関係の職能団体に「お願ひ文」を送付いたしました。

⑤ 隅田川七福めぐり

今期も2025年1月3日10時、多聞寺出発にて行いました。参加者は、当会11名、下町人間の会6名、合計17名でした。天候にも恵まれ、立ち寄ったお寺、神社の歴史は大変興味深いものでした。若い人たちの参加も多く、楽しい一日でした。今後、皆さんの参加を期待致します。

⑥ 会員情報の連携についてのお願ひ

会員の皆様には、年月が経つに従って事情変化が起こります。事務局では、会員の皆様からの連絡によって対応するようにしていますが、生前予約の方が亡くなった場合等、遺族の方からの連絡がなく、手続きに遅れが生じることも多くなっています。会員の皆様には、是非、墓碑の会に関する情報を家族内にて共有して頂きますようお願い致します。尚、会員との連絡担当は千蔵眞理事が行っています。

⑦ 故川崎麗子氏より遺贈された北烏山住宅青葉団地について

故川崎麗子様（2021年7月21日没）から遺贈された建物等（東京都世田谷区北烏山住宅3号棟308号、区分所有権付き団地住宅1室／約50平米2DK／エレベーターなし）について、北烏山青葉団地全体の建て替え問題が30年前から続いているとのことです。

当会としては詳しい事情を知る立場ではありませんでしたが、管理組合からの通知と臨時総会に出席し、現状を把握するよう努めていました。そのような中、大多数の意思により管理組合と野村不動産との建て替え方針に関する契約が成立し、2024年11月、説明会が行われました。

説明内容は、「建て替えに伴う個々の諸条件」「建て替えの完成までの日程の提示」「所有者の選択すべき内容」等でした。

しかし、去る2025年10月12日（日）その後の経過についての説明会がありました。その内容は「建設費の大幅な高騰により、当初見積もり通り進められない」という状況変化でした。特に各権利者の経済的負担が変わるといふ重要な変化です。

管理組合、施工業者、権利者による再検討が必要となり、昨年示された内容は一旦白紙となりました。

墓碑の会としては、このような状況を踏まえて、理事会にて討議し、一定の方向を確認していますが、具体的な措置については来期以降に持ちこすこととしました。

15期理事会にて討議した方針（案）

（ア）建て替えが完成した後、「墓碑の会の事務所として使用できるかどうか」検討した結果、諸条件が合わないことから建て替え完了後使用する可能性がない。

（イ）建て替え後、墓碑の会の資産として残し、賃貸などの活かし方も考えられるが、会の性格上、及び管理責任等を考慮

すると適切な方法ではない。

（ウ）以上の点を考慮し、所有権（区分所有）を譲渡し、現金資産とする方向ですすめる。

但し、税金問題の条件等を充分検討したうえ判断する。

（エ）譲渡が成立した場合、その資金を活かし、今後の事務所確保等を改めて検討する。

（オ）故川崎麗子様のご寄贈による資金は、通常の寄付とは異なるものであり、今後の重要な基金となるものでもあるので、創立期の基金同様、会の歴史に関する記録の中に記載することとする。

⑧理事会の開催日と議題記録

第1回理事会 2024年12月5日（火）

第14期社員総会の総括

新年度理事の任務体制を決める。

「七ふく」106号準備について検討する。

第2回理事会 2025年3月4日（火）

全合葬者・合同追悼会の埋葬者・刻銘者19名の確認。

「七ふく」106号及び4月29日の資料の作成状況検討。

北烏山住宅青葉団地の建て替え方針に関する報告と問題点検討。

第3回理事会 2025年4月15日（火）

全合葬者・合同追悼会の諸準備、最終確認。

当日の任務分担確認。

第4回理事会 2025年6月24日（火）

全合葬者・合同追悼会の総括。

「七ふく」108号完成し、全会員への発送を行う。

社員総会11月1日（土）として準備をすすめる。

「七ふく」年2回案を決める。

第16期社員総会



北鳥山住宅青葉団地の建替案の現況と対応案を検討。
第5回理事会 2025年9月30日(火)

第16期社員総会準備。

社員総会の資料(案)検討。

社員総会の案内と出欠はがきを発送する。

第6回理事会 2025年10月14日(火)

第16期社員総会に向けて提案資料確認、第16期理事案を
検討。

北鳥山住宅青葉団地に関する状況変化等を報告。

第16期 活動方針

- 1、会員(正会員、賛助会員)の加入よびかけと会員とのコミュニケーション
①生前予約者の加入呼びかけ。
「七ふく」にて紹介・諸団体へ呼びかける。
②納骨と墓碑刻銘の申し込み期限を2026年2月28日とする。
③既にお亡くなりになっていて連絡のない方の情報収集を行う。
- 2、第35回全合葬者・合同追悼会を執り行う。
2026年4月29日(火) 12時より多聞寺にて行う。
- 3、「七ふく」年2回の発行を行う。
①109号 2025年12月発行。
②110号 2026年6月発行。
③今期より年2回発行とするため紙面の充実を目指す。
- 4、隅田川七福神めぐりを下町人間の会と共催にて行う。
2026年1月3日 10時、多聞寺集合にて行う。

5、多聞寺の行事・墓参の日への参加を呼びかける。

春分の日 秋分の日 平和コンサート

6、組織の充実を目指す活動

- ① 理事及び協力者の立候補・推薦を引き続きお願いする。
- ② 広報・宣伝Ⅱホームページの充実、「七ふく」等を活用する。
- ③ 会員相互の交流の場を検討する。

第16期 理事及運営体制

(2025年11月1日～2026年10月30日)

第16期理事(50音順)

大内由利 楠山忠之 児玉高志 高間賢治 千藏眞理
根本哲史 平沢清一 堀田敏子 藤野戸護 古川博資
松本 平 森 世一 山口逸郎 山口百枝 (計14名)

第16期運営体制

〔代表〕 山口逸郎
〔副代表〕 松本 平 高間賢治
〔事務局長〕 松本 平
〔事務局次長〕 千藏眞理
〔会計〕 山口百枝
〔名誉会長〕 野原嘉一郎
〔顧問〕 石子 順 堀内正美 岸田正博(住職)
〔監事〕 生駒 巖 木寺 豊

新理事・新監事紹介

藤野戸 護



皆様の努力によって維持発展してきたこの会の中で、今までは監事として関わってききましたが、改めて理事としてお手伝いさせていただくことになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

児玉 高志



私は1975年に日活に入社して監督になり、2002年からは大学で映画作りを教えってきました。日活時代からお世話になっている先輩からのお声掛けで、この度理事に就任する事になりました。今後ともよろしくお願いたします。

木寺 豊



この度、監事を務めることになりました木寺豊と申します。歴史ある本会の役割が果たせるよう努力いたします。まだまだ若輩ですが、どうぞよろしく願い致します。



第15期 収支決算報告書
2024年10月1日～2025年9月30日

収入の部						単位：円
区分	科目	予算	決算	差額	構成比率	備考
1	前期繰越金	50,083	50,083	0	0.9%	
	永代供養料	2,500,000	2,500,000	0	46.2%	
	特別会費	1,700,000	1,300,000	▲400,000	24.1%	
	賛助会費	100,000	70,000	▲30,000	1.3%	
	埋葬負担金	500,000	650,000	150,000	12.1%	
	入会費	50,000	25,000	▲25,000	0.5%	
	寄付金	785,000	760,000	▲25,000	14.1%	
2	事業収入計	5,635,000	5,305,000	▲330,000	98.2%	
	受取利息	4,000	21,979	17,979	0.8%	
	雑収入	1,000	232	▲768	0.0%	
3	事業外収入	5,000	22,211	17,211	0.8%	
	収入の部合計	5,690,083	5,377,294	▲312,789	100.0%	

支出の部						単位：円
区分	科目	予算	決算	差額	構成比率	備考
	永代供養料	2,500,000	2,500,000	0	40.8%	
	墓碑維持費	240,000	465,650	225,650	7.6%	
	広告宣伝費	470,000	613,449	143,449	10.0%	
	会議費	180,000	172,439	▲7,561	2.8%	
	交通費	450,000	414,504	▲35,496	6.8%	
	賃借料	792,000	792,000	0	13.0%	
	事務局費	170,000	271,159	101,159	4.4%	
	通信・消耗品費	200,000	251,748	51,748	4.1%	
	支払手数料	18,000	28,233	10,233	0.5%	
	活動補助費	280,000	360,000	80,000	5.9%	
	租税公課	65,000	256,800	191,800	4.2%	
	雑費	10,000	8,700	▲1,300	0.1%	
	予備費	0	0	0	0.0%	
	合同追悼会	260,000	0	▲260,000	0.0%	
1	事業費支出計	5,635,000	6,134,682	499,682	100.0%	
2	次年度繰越金	55,083	▲757,388	▲812,471	0.0%	
3	支出の部合計	5,690,083	5,377,294	▲312,789	100.0%	

第15期 寄付金者名簿

2024年10月1日～2025年9月30日

No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名	No.	氏名
1	相崎國太郎	18	大村新一郎	35	高崎麻紀子	52	野口 茂	69	増島秀男
2	赤瀬久美子	19	片野福子	36	高間賢治	53	野田良子	70	松井晶子
3	飯田幸光	20	加藤雅子・千代	37	瀧澤美奈	54	野原嘉一郎	71	松浦邦子
4	飯塚頼夫	21	木下央子	38	田口あい子	55	波多野美也子	72	松田容子
5	井口 洋	22	草柳公子	39	武井和子	56	平岩雅代	73	松本 平
6	石黒 武	23	小島禮子	40	竹口安芸子	57	福沢久子・真理子	74	村山容子
7	石黒とみ子	24	小谷 江	41	武田一男	58	福原より子	75	森谷 順
8	石子順・石河幸恵	25	小山幹夫	42	田中須賀子	59	藤倉博・邦子	76	矢島正明
9	伊藤博三	26	齋藤禮子	43	千藏真理	60	古川博資	77	矢野 徹
10	猪俣 香	27	坂 泰子	44	堤 恵子	61	保刈よしゑ	78	山川英明・まり
11	今崎則子	28	境屋地谷子	45	津須利夫	62	堀田泰寛・敏子	79	山口逸郎
12	内山時雄・洋子	29	佐藤充男	46	鶴島シマ子	63	堀 信子	80	山口百枝
13	宇都宮寧子	30	柴崎郷子	47	内藤智之	64	本田利美	81	山田洋次
14	大石元子	31	進藤淳一	48	中田新一	65	本田 正	82	山田美香子
15	緒方承武	32	菅野 尚	49	永橋晃子・良	66	本間文子	83	吉田久子
16	大倉弥生	33	鈴木荘介	50	中村裕子	67	前島潤一郎	84	渡辺ひろみ
17	大隅恵子	34	関根赫子	51	西口あずさ	68	蒔野富美子		

この度も多くの方々から寄付金を寄せて頂き誠にありがとうございました。心より御礼を申し上げます。

2025年10月16日

一般社団法人 映画人の墓碑の会
代表理事 山口 逸郎 殿

監事 生駒 巖

監事 藤野戸護

会計監査報告書

2025年10月16日、山口逸郎代表理事 山口百枝財務担当理事立ち
合いのもとで、監事 生駒巖が、又、藤野戸護は、一般社団法人 映
画人の墓碑の会の15期（2024年10月1日から2025年9月
30日）の会計について、会計監査を実施致しました。

監査にあたっては、山口財務担当理事の説明を聴取しつつ振替伝票、
勘定科目帳、請求書、領収書、銀行預金通帳等を照合した結果、財務
に関する事務は、複式簿記の原則に基づいて総勘定元帳に正確に記
入されており、会計原則その他の法令に合致しており請求領収書等
も適正に処理されておりましたので、ここにご報告申し上げます。

以上

第15期 会計監査報告
監事 生駒 巖・藤野戸護

第16期 収入支出予算書
2025年10月1日～2026年9月30日

(単位：円)

収入の部			支出の部		
区分	科目	金額	区分	科目	金額
	前期繰越金	▲757,388		墓碑維持費	450,000
	特別会費	1,500,000		広報宣伝費	500,000
	賛助会員費	100,000		会議費	170,000
	埋葬負担金	700,000		交通費	420,000
	入会費	50,000		賃借料	792,000
	追悼会費	200,000		事務局費	260,000
1	事業収入小計	1,792,612		通信費・消耗品費	252,612
	寄付金・その他	800,000		活動補助費	600,000
	定期預金取崩し	1,000,000		支払手数料	28,000
				雑費	10,000
2	事業外収入小計	1,800,000		公租公課	80,000
				予備費	30,000
				事業支出計	3,592,612
	収入の部合計	3,592,612		支出の部合計	3,592,612

第15期 会員募集の現況

2025年9月30日現在

合葬者 (累計)

期首	2024年10月1日 (第33回合葬者総数)	426名
	今期合葬者数 <内訳>	19名
	*生前予約者	17名
	*新規合葬者	2名
	*合葬予定者	7名
期末	2025年9月30日	452名

2024年10月1日～2025年9月30日

第34回合葬者名		合葬予定者
森谷澄子	吉田順平	深井耀子
宮古とく子	白石 忠	井口省司
大隈夫美雄	野口信子	田口義明
徳永淳子	長井 博	平岩道代
阿部美津子	野田耕造	押見信二
高橋芳雄	西口武郎	木下祐子
		石川 清
		上村啓子

加入者名		
高橋千津子	平岩道代	児玉裕美
平岩壽美代	山口 洋	
平岩雅代	児玉高志	

正会員

期首	2024年10月1日現在	197名
	期首加入者数	個人 189名 団体 8
	減少者数	個人 16名 団体 0
	新規入会者数	8名
	期末加入者数	個人 181名 団体 8
期末	2025年9月30日現在	197名

顧問 岸田正博

○団体会員

共同映画株式会社	親子映画東京連絡会
㈱近代映画協会	㈱こぶしプロダクション
日本記録映画作家協会	㈱日本電波ニュース
㈱独立映画センター	下町人間の会

賛助会員

期首	212名
加入者	8名
退会	21名
期末	199名

特別記載

毎年総会資料に墓碑の会に関する創立と経緯について記載しています。今回、新たに追加分が入りましたので「七ふく」109号に記載します。

「映画人の墓碑の会」創立後の総会・代表の記録

映画人の墓碑の会は1992年4月29日、山口義夫氏の発案で、当時共同映画元社長坂齋小一郎・ハツ夫妻の寄付により、多聞寺岸田住職の協力の中で設立されました。

設立は、任意の団体として出発し、当会の会員又は過去において映画人として活躍し、当会へ賛同された方々を墓碑に刻銘することを言うこととしました。

設立に当たって作られた墓碑の題字は、数々の名作を残された映画監督新藤兼人氏の書が刻まれました。

以後、多くの映画人が加入し、2010年11月に法人化され、2025年11月総会で、設立から満34年、法人化から15年の歴史をもつ会となりました。

総会に際し、設立後の歴史を示す記録のいくつかを記載致します。

① 設立に際しての坂齋小一郎・ハツ夫妻の寄付金

当会の設立は、元共同映画社長坂齋小一郎・ハツ夫妻による寄付金を基金として設立することが出来ました。その後、通常の運営費は会員の皆様からの寄付によって行われてきました。この基金は、設立時の資金と、運営費に不足資金が生じた場合、補填金として生かされています。

② 会員川崎麗子さんからの特別な寄付

2010年頃、当時、事務局を頻繁に訪れていた川崎麗子

様より「自分の住まいを含む全資産を自分の死後、墓碑の会に寄贈したい。遺言にして残しておきます」という意思表示がありました。

川崎麗子様は、その遺言を自宅に残し2021年7月27日お亡くなりました。理事会は、初めてのケースであり、種々議論の結果、川崎麗子様の遺志を尊重して受け入れることとし、法的手続きを行いました。その結果、川崎麗子様の全資産が墓碑の会の資産として活かされることとなりました。ここに川崎麗子様の御厚意に感謝するとともに当会の歴史的記録として残すことと致しました。

墓碑設置に関する記録

題字 新藤兼人（2012年5月29日没 100歳）

設計 中央設計 永橋為成（2019年没 82歳）

施工 石梅 丸山純一

隅田山多聞寺三十世 岸田正博住職

映画人の墓碑の会 基本行事

毎年 4月29日（創建日） 全合葬者・合同追悼会

映画人の墓碑の会 三つの基本方針

（1998年7月23日第7回総会にて確認）

1、この会は、故人を納骨・合葬し、墓碑銘にその名を刻して顕彰し、末永く共同して追悼します。

2、この会は、生前予約者を正会員として、会員の意志によって運営され、総会で選出された理事が日常の運営に当たります。

3、この会は、思想・信教の自由を尊重し、宗教・宗派を問わず、

映画を愛し、平和と民主主義・人間の尊厳を守ります。
但し、全合葬者・合同追悼会は、多聞寺との契約により仏式にて執り行っています。

略史

1992年4月29日 映画人の墓碑の会創建
2002年4月29日 創建10周年第11回全合葬者・合同追悼会。
2010年11月3日 一般社団法人映画人の墓碑の会となる。

この年の総会より社員総会となり、この年
度を第1期とした。

ただし、全合葬者・合同追悼会は創建時よ
り通し回数とした。

2017年4月29日 第26回全合葬者・合同追悼会は25周年とし
て執り行う。

法人化後、10期を迎えたが、コロナ禍によ
り特別な行事は行わなかった。第29回全合
葬者・合同追悼会は中止し、翌年に行うこ
ととなった。

2021年4月29日 全合葬者・合同追悼会第29回・30回を合
同して執り行った。

2022年4月29日 第31回全合葬者・合同追悼会は30周年とし
て執り行う。

当代会報「七ふく」100号となり、特集
号とした。

2023年4月29日 第32回全合葬者・合同追悼会をコロナ禍や
や正常化の中で執り行う。

2024年4月29日 第33回全合葬者・合同追悼会はコロナ禍が
収まり、参加制限なく執り行った。

歴代代表の記録

初代代表 野原嘉一郎（1992年～2017年）

全合葬者・合同追悼会 第1回～第26回

第2代代表 菅野俊雄（2018年～2019年）

全合葬者・合同追悼会 第27回～第28回

第3代代表 山口逸郎（2020年～現在に至る）

全合葬者・合同追悼会 第29回～第34回

音沙汰あり！（50音順・敬称略）

荒木由美子 維持していくのはこの団体、組織もなり手不足
で大変です。今、団地の管理組合理事長という役をしており、も
う一つの理事を引き受けられる余裕はありません。

石川綾子 いつもお世話になります。7月9日に（夫）清が死
去しました。寂しい日々になりました。

猪俣 香 関西在住のためお手伝いできず、申し訳ありません。
今崎則子 色々お世話頂きありがとうございます。健康上の理
由にてお手伝い出来ません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

内山時男・洋子 道元が、冬雪さえてすずしかりけりと詠んで
いるように92歳の老人にとって、冬はかじかむほど寒く、舞う雪
に身体が縮んでしまいます。でも、温かい鍋物が僅かな楽しみにな
りました。然し衰える体には勝てません。じっと家に閉じ籠る
生活なので、欠席させて下さい。これからも貴会の益々の発展を
心から祈念致します。

大内由利 10年ぶりに英国、ロンドンに行ってきた。シス
テムが色々と変わっていましたが、優しい笑顔にたくさんふれ
て、幸福な気分になって帰国しました。

大久保栄一 いつも連絡いただき、ありがとうございます。御座居ます。いつも仕事の都合でとかで参加できず、申し訳ないと思っております。毎回楽しみに読んでおります。この先もよろしくお願い致します。

大隈恵子 足がいたくて寝たり起きたりの生活を送っています。

太田玲子 社員総会の件、高齢のため欠席いたします。いつも、ありがとうございます。

片野福子 姉が亡くなり、早いもので半年以上経ち、涙がかわく間もなく、次から次と終末の続きや、相続の税理士さんとの話し合いなど、ほんとうに大変です。82歳の私も足腰が弱くなり、外出もままならない今日この頃です。

加藤雅子・千代 いつもお世話になっております。母は最近足が弱って、転んでケガばかりしているので、車椅子をレンタルすることにしました。自分の足で歩けるって幸せなことですね！

神山瑞枝 いつもお世話になり、ありがとうございます。年毎に暑くなる気候変動、世界が一丸となって何とかする方向にいて欲しいです。皆様呉々もご自愛下さいますように。

木下央子 お世話になっていきます。たまにはこういう機会に上京して、皆さまともお会いしたいと思いつつ、だんだんとかかわぬようになりました。どうぞよろしくお願い致します。会の運営がスムーズにいきますようお願いしています。

木下 茅 本年6月の半ばに母(祐子)が亡くなりました。来年の合同葬ではよろしくおねがいいたします。

楠山忠之 今夏は理事会を連続3回欠席、申し訳ありません。私の身辺及び作品の上映会などで追われています。体調はまあまあです。ご迷惑をかけます。

熊谷光子 主人が5月29日に他界し、5ヶ月になります。やっ

と落ち着いた所です。写真など送りますので、よろしく願います。

栗原海帆子 墓碑の会の維持、運営にご尽力いただき、感謝しております。

児玉高志 初めて参加させていただきました。よろしく願います。

小山 卓 年に数回墓参りをしています。これからもよろしく願います。

小山幹夫・多理子 偕老同穴 共に歩いた 喜怒哀楽の道 夢！ 感謝！ ありがとうございます！ ゴールは多聞寺 映画人の碑

小島禮子 いつもお世話様です。高齢になり躰が思う様になりません。お役に立てず済みません。どうぞよろしく願います。

酒井 登 背骨の複雑骨折でリハビリ中。

酒匂正弘 ご苦労様です。何のお手伝いもできず申し訳ありません。よろしく願います。

沢柳佐和子 老人施設入居中。

進藤淳一 会員をふやしましょう。

鈴木荘介 年明け早々に「喜寿」を迎えまして10ヶ月が経ちました。持病の両膝の変形性関節症に悩まされて居ります。しかし、日々のリハビリテーションを怠らず、現状維持を保って社会貢献活動につないで居ります。当日は、先に予定がありまして、失礼いたします。

関谷先弘 一人暮らしなので…。

田口あい子 合同納骨式の際は大変お世話になりました。お陰様でその後穏やかに暮らしております。ありがとうございます。

武井和子 いつも大変ありがとうございます。何のお手伝いもできず、申し訳ありません。どうかよろしく願います。

田中須賀子 会の運営、誠に有難うございます。よろしくお願
いします。

田中良治 やっと秋らしくなって来ましたね。猛暑でウォーキ
ングをサボっていたら、歩けなくなっていました。家の二階
の自室に行くのも、やっとの状態です。

堤 恵子 いつも大変お世話になりました、ありがとうございます
ます。今年の夏は異常に暑く、7月頃から具合が悪くなりまし
た。10月に入って少し涼しくなって、やっと体が戻ってきま
した。ずっと寝たり起きたりしていましたが、こんなに急に動け
なくなるとは、ショックを受けております。皆様のお役に立て
ず、申し訳なく思っています。

鶴嶋シマ子 役員の皆様には、何時もお世話様でございます。
私、日々の生活は何か一人でやっておりますが、外出は無理で
す。よろしくお願います。

永橋為介 理事の皆様、本当にありがとうございます。戦後80
年、「新しい戦前」の足音が強まっておりますが、何とかくいと
めたいと思っております。

二瓶佳子 会の運営にご尽力をありがとうございます。ご協力
できず、申し訳なく思っております。体力も衰えてきております
ので、出かけられませんので、宜しくお願います。

沼倉良夫・金子 いつもお世話になりました、有難うございま
す。良夫は今、介護施設にお世話になって居ります。私も91歳に
て足が良くないので、申し訳ないと思っております。よろしくお
願います。

野田良子 合同追悼会の際には大変お世話になり、ありがとう
ございました。12月には夫の一周忌を迎え、そろそろ準備をと
思っております。皆様、どうぞご健康でご活躍下さいますようお
祈りしております。

羽瀧三良 病院入院中、頑張っています。羽瀧順子のハガキが
同封されています。

藤井美恵子 行事、活動など仲々参加出来ず、申し訳なく思っ
ております。今後共よろしくおねがい致します。

藤倉 博・邦子 いつもお世話になっております。遠い九州か
ら感謝しております。

藤原民子 いつも大変お世話になり、ありがとうございます。
今年、大病で手術をしました。体力がなかなか戻らず、日常生活
の維持がやっとの状態です。

保刈よしゑ お手数をおかけ致します。歩く事があまり出来ず
すみません。

堀田泰寛 理事会の皆様、事務局の皆様、いつもお世話になっ
ており、感謝致しております。八十の手習いと申しますが、リハ
ビリを兼ね、俳句を始めました。カメラの目と共通する点があ
り、楽しんでやっております。皆様よろしくお願いたします。

堀内正美 理事をお引き受けしていただきながら、お手伝いが出来
ず、大変申し訳ありません。個人的に「墓碑の会」への広報活動
をしています。

蒔野富美子 4月の合同慰霊祭のお知らせのみ、中野の旧住所
に届きました。訂正をお願いいたします。お手数をお掛けします。

増田統平・紫 今回、社員総会のお知らせが届きませんでした。
名簿の整理、よろしくお願致します。

松浦邦子 住所訂正お願します。(新旧住所略)

松本節子 肢体不自由で暮らしております。よろしくお願
致します。お元気で暮らして下さいませに。

水口泰江 細菌性肺炎で入院してりました。マスク、手洗
い、うがい、自分ではやっているつもりでしたが、改めてきちん
とやらないと、と思いました。

御山幸枝 皆様、いつも大変な作業をお疲れ様です！

矢野 徹 2023年3月末日で小さな診療所を閉院し、その後は茫々と生きております。高齢の為、外にも余り出られませんが。会の益々の発展と皆様方の御多幸を願っております。

山川英明・まり 運営の皆さまには大変お世話になっております。主人は11月末まで地方ロケに出ていますので、当日は欠席致します。お手数をおかけしますが、よろしくお願い致します。

山田洋次 会の運営に係る方々に心から、ご苦勞様、と申し上げます。

相崎國太郎・セツ 赤瀬久美子 秋葉多恵子 石河幸恵

石黒武・和子 石黒とみ子 石子順 伊藤亮二 大倉彌生

片岡富枝 鎌倉敏恵 小谷稔子 近藤高子 齋藤雅子

佐藤充男 永田喜美子 永田クミコ 廣川志津子 堀信子

真壁浩子 松田容子 矢島正明 矢島るみ子 吉田久子

以上の方々からもご挨拶のお便りをいただいております。

出欠ハガキは会員の消息を知る数少ない手段ですので、有効にお使いくださるようお願いいたします。

会員消息

りんたるうさん アニメーション監督で多くの作品を残されていますが、2025年4月に手塚治虫文化賞でマンガ大賞を受賞されました。

山田洋次さん 第38回東京国際映画祭で特別功労賞を受賞され、新作『TOKYOタクシー』も楽しみです。お忙しいにも関わらず、一言を添えた返信を毎回頂いて嬉しいです。

多聞寺で「いのちと平和コンサート」開かれる。

去る11月16日(日)墓碑の会の先輩達が眠る菩提寺・多聞寺本堂にて、戦後80年の誓いを祈念し「いのちと平和コンサート」が開かれました。開会に際し、岸田住職の読経があり、住職は、法話のなかで「寺の歴史と戦争と平和について」重要なお話をしてくれました。

続くコンサートは、千葉交響楽団のカルテットによる「シューマンのピアノ五重奏曲変ホ長調作品44」が演奏され、後半は下町で愛された坂本九さんの「見上げてごらん夜の星を」「上を向いて歩こう」等親しみのある曲が奏でられました。最後に全員で「ふるさと」を合唱し、大変感動的なコンサートでした。

尚、コンサートプロデュースは、元日本フィル松本伸一さん、演奏者は、ピアノ…鈴木奈津子 バイオリン…小泉百合香・荒巻美沙子 ヴィオラ…春木英恵 チェロ…海老沢洋三の皆様でした。



戦後80年、戦争を描く日本映画に希望

平沢清一

戦後80年の日本映画は戦争に関連する作品が並んだ。調べてみると40本ほどで、すべてを観ることは叶わなかったが、できる限り劇場に足を運んだ。心に残った映画を紹介したい。

とくに沖繩関連の作品が充実していた。『宝島』（大友啓史監督）は、妻夫木聡・永山瑛太・広瀬すずらが出演するエンタメ大作。米軍統治下の沖繩で理不尽な支配に抵抗する若者と民衆の怒りを鮮烈に焼きつける。『劇映画 沖繩』『俺たちの歌』魂の作曲家・荒木栄一俺たちの歌』『映画ひまわり』沖繩は忘れない あの日の空を』など、独立プロの映画を想起させた。『木の上の軍隊』（平一紘監督）は、沖繩の伊江島で敗戦を知らず、ガジュマルの木に潜んで戦い続けた二人の兵士の実話を映画化。井上ひさしの原案で、兵士役の堤真一と山田裕貴の熱演に引き込まれる。300以上もある沖繩の追悼施設に着目し、訪れる遺族らの癒え難い沖繩戦の傷跡を見つめた『摩文仁 mabuni』（新田義貴監督）。近年強まる軍人を美化する傾向に警鐘も鳴らす。『太陽（ティタ）の運命』（佐古忠彦監督）は、沖繩県知事を務めた太田昌秀と翁長雄志の相剋から、米軍基地反対運動の歴史と不屈の闘いに斬りこむ。『満天の星』（葦澤恒、寿大聡監督）は、多くの学童を乗せた沖繩の疎開船が米軍に撃沈され、1484人もが死亡した「対馬丸事件」の悲劇に迫る。『豹変と沈黙 日記でたどる沖繩戦への道』（原和義監督）は、沖繩の兵士の戦中日記からアジアへの侵略戦争の責任を問う。

核戦争の危機がかってなく深刻化する中で、原爆関連映画も少なくなかった。『惑星ラブソング』（時川英之監督）は、奇抜なS

F的設定で広島を爆撃「愛と平和」を訴える。ノーベル賞作家で被爆2世のカズオ・イシグロ原作を、広瀬すずと二階堂ふみの共演で映画化した『遠い山なみの光』（石川慶監督）は、長崎原爆のトラウマを幻惑的な独創的視点で描く。被爆3世の松本准平監督が真正面から原爆に取り組んだ『長崎 閃光の影で』。被爆者の救護に奔走した看護師の手記に基づき、原爆投下時の惨状を丹念に再現した。『はだしのゲンはまだ怒っている』（込山正徳監督）は、広島で6歳の時に被爆した中沢啓治の、長く読み継がれている原爆漫画の魅力と役割を紐解き、核兵器を廃絶できない現状に「ゲンの怒り」を改めて突きつける。

その他、『名無しの子』（竹内亮監督）では、旧満州に置き去りにされた「中国残留孤児」を、『War Bride 91歳の戦争花嫁』（川嶋龍太郎監督）では、敗戦直後に米国人と結婚した「戦争花嫁」と呼ばれた日本人女性を取り上げ、それぞれの苦難の人生に光を当てた。『よみがえる声』は在日朝鮮人2世で9歳の朴壽南監督が娘の朴麻衣監督と共同で、原爆・徴用工・日本軍「慰安婦」など埋もれた朝鮮人の戦争被害の記憶の継承に挑む意欲作。さらに岐阜県から満州に渡った黒川開拓団での隠されていた性暴力を告発する『黒川の女たち』（松原文枝監督）、医学的な観点で「731部隊」などの侵略戦争の加害責任を鋭く抉った『医の倫理と戦争』（山本草介監督）と、戦争をめぐる多様な問題に日本映画が真摯に向き合った年だった。大軍拡に突き進み軍事的緊張を煽る高市政権で「新たな戦前」がより近づいた今、節目の年に限らず二度と悲劇を繰り返させないために、反核反戦映画が継続的に製作されることを期待したい。

なお「墓碑の会」理事・楠山忠之監督の『陸軍登戸研究所』も上映されていた。川崎市「登戸研究所資料館」の近くにある「川崎アートセンター」で度々上映され、常に満席で好評だ。

○松本 平 異常な暑さと短い秋、いつの間にか年末になってしまった感じです。戦後80年という節目の年も波乱続きの1年でした。

愚かな戦争が続いています。日本の世の中も異常なことが続いています。物価高、株価やマンションの高騰、格差社会は強まるばかり。

政治もおかしいことばかり。「二度と戦争はしない」と誓ったはずの日本、自公政権から自維連立政権、高市内閣は、周辺危機を理由に「戦争出来る国に」暴走し始めています。トランプの御機嫌取り、中国への挑発発言、ついに非核三原則まで見直すという。メディアも高市劇場化しているようです。

さて、映画人の墓碑の会は、16期社員総会で決まった新しい体制にて最初の取り組み「七ふく」109号が完成できました。昨年の反省から少し早めて皆様にお届け出来るようになりました。来年も厳しい年になりそうです。皆様のご協力をお願いしながら進めたいと思います。よろしくお願い致します。

○高間賢治 今総会で、入会して間も無い私がナント副代表に任命されてしまいました。撮影現場では最長老であることが珍しくないのですが、墓碑の会に来るとまだまだ若造の感を持ちます。お墓に入るための会ですので、高齢者が多いのは当然と言えば当然なのですが、90歳以上の理事が不自由な体を引きずって働いているのは、何とかしてあげなければならぬと思っていました。そう言う私もそろそろ引退を考えていて、仕事も無いのに月18万の家賃を払っているわけにもいきません。数年後には埼玉県北部の深谷に引き籠り、自給自足生活を目指さなければなりません。そうすると青山に通うのも難しくなります。でも、あれこれ考え

ても仕方ありません。お手伝いできる限りはお手伝いして、次の方に繋げようと思います。

2024年に撮影した浜野佐知監督、菜葉菜主演の『金子文子何が私をこうさせたか』が2月28日より渋谷のユークロススペースで公開となります。ぜひご覧になって感想をお聞かせください。

○堀田敏子 今回も「音沙汰」の出欠葉書のコメントの打ち込み作業に取り組みました。3回目ともなると、出欠の葉書の手書きの文字も難なく書き写すことが出来るようになりました。また、108号の編集後記に夫の堀田泰寛の脑梗塞発症のことを書きましたが、早期リハビリが功を奏して元氣を取り戻し、そのようななか、お見舞いにいらした映画監督から、リハビリのために毎日、俳句を一句作るよう勧められ、頑張って取り組んで3ヶ月あまり、感心しております。

☆シーラカンス目に映りしは大銀河

☆新月の海にゴンベッサ釣ると言ふ

今は俳句結社を退会しておりますが、私は俳句に40年余り取り組んで、NHK・BSの俳句番組に年1回、10年あまりゲスト出演しておりましたので、堀田の俳句を鑑賞することが出来ます。毎日堀田の俳句を見ていて感じることは、映画のカメラマンの目線と俳句作りの目線は共通するのではないかと、ということですが堀田は、もう40年余り前に化石魚シーラカンスの学術調査団のカメラマンとして参加したとか。また、シーラカンスの別名がゴンベッサ、地元では幸福を運ぶ魚のことと言われているとか。

お知らせ

1月3日 隅田川七福神めぐりを行います。

多聞寺10時集合